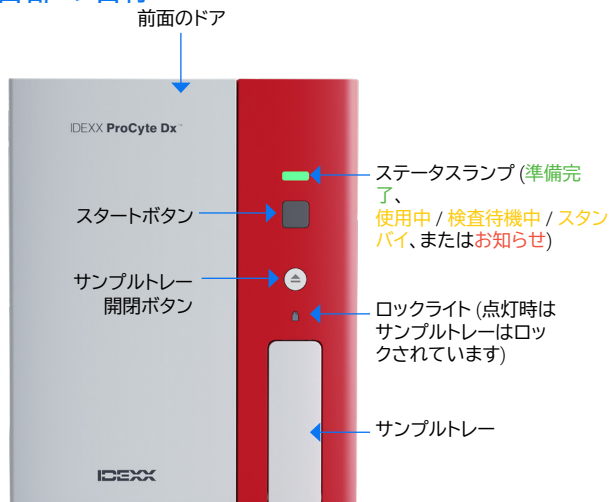


# IDEXX プロサイトDx (ProCyte Dx™ Hematology Analyzer)

## クイックガイド

### 各部の名称



### 検体の測定

1. 全血検体の採取  
**重要:** IDEXX プロサイトDxは、さまざまな採血管(チューブ)と互換性があります。必要な検体量はチューブの種類によって異なるため、製造元のガイドラインに従うことが重要です。EDTAと検体の適切な割合を保つことで、チューブの過充填(凝固や凝集につながる)や過少充填(赤血球収縮(円鋸歯状化)などの形態学的変化につながる)を防ぎます
2. IDEXX バットラボ™ステーションで検査を開始します(詳細は、[idexx.com/product-info](http://idexx.com/product-info)からIDEXX バットラボ ステーション操作ガイドを参照してください)。
3. 検査器の選択画面で患者情報と検体種類を確認した後、「IDEXX ProCyte Dx」アイコンを選択し、「測定」をタップします。
4. 画面に表示されている手順を読み、「OK」をタップします。
5. チューブを10回転倒混和し、検体と抗凝固剤を混ぜます。
6. すぐにサンプルトレイ内の適切なチューブアダプターにチューブをセットします。  
**重要:** 微量採血管を使用する場合は、マイクロアダプターにセットする前にキャップを取り外してください。
7. 検査器の「スタート」を押します。サンプルトレイが自動的に閉まり、検査器が測定を開始します。

### 試薬キット / 染色パックの交換

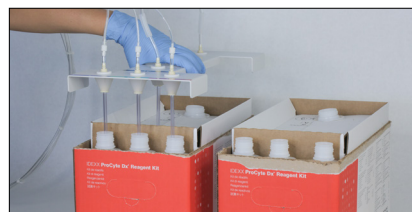
試薬キット / 染色パックの残量低下、期限切れが近い、あるいは空になったり期限切れになると、お知らせが表示されます。試薬キット / 染色パックが少ない、期限切れが近い場合、試薬キットの在庫があることを確認してください。(必要な場合は試薬キットを注文してください)

### 試薬キットの交換:

1. お知らせメッセージの「試薬キット交換」か初期画面の「IDEXX ProCyte Dx」アイコンをタップしてから、「試薬キット交換」をタップします。
2. 試薬キットのバーコード2をスキャンして、「続行」をタップします。
3. 新しい試薬キットの開封タブを引っ張って開封し、試薬シエルフを開け、検査器の横または下に置いてください。



4. 3本のボトル、システム希釈剤、廃液用コンテナのキャップを取り外し(必要に応じて純正アクセサリキットのキャップリムーバーを使用)、脇に置いておきます。ボトルラベルの色とシエルフの色を照合して、ボトルの順番が正しいことを確認してください。
5. 試薬キットにクイックコネクットトップを装着し、プローブが3本の試薬ボトルと希釈剤、廃液用バッグに挿入されていることを確認してください。



6. 「OK」をタップします。
7. 古い試薬キットから各試薬ボトルを慎重に取り出し、適用される地域の廃棄物関連法に従って各ボトルの内容物を廃棄します。そして、新しい試薬キットのボトルに付いていたキャップを、古い試薬キットのボトルに装着します。

### 染色パックの交換:

1. お知らせメッセージの「染色パック交換」か初期画面の「IDEXX ProCyte Dx」アイコンをタップしてから、「染色パック交換」をタップします。
2. 染色パックの箱のバーコード2をスキャンもしくは入力して、「続行」をタップします。

- 検査器の前面のドアを開きます。
- 新しい染色パックのキャップを外します。
- 古い染色パックをホルダーから取り外し、新しい染色パックを装着します。



- 古い染色パックからプローブを外し、新しい染色パックに装着します。この際、各プローブを必ず適切なパックに挿入します(染色パックのラベルの色に合わせて染色ラインとキャップを取り付けます)。



- 漏れを防止するために、新しい染色パックのキャップを古い染色パックに取り付けてください。
- プローブキャップを新しい染色パックに取り付け、前面のドアを閉じます。
- 「OK」をタップすると、交換が完了します。

## 本体のメンテナンス

詳細については、[idexx.com/product-info](http://idexx.com/product-info)からIDEXX プロサイト Dx 操作ガイドをご覧ください。

### 毎月の洗浄手順とQCを実行する (毎月)

- IDEXXハイドロクリンがない場合は、次のいずれかの方法で5%漂白剤を用意してください。
  - + 2.5 mLのろ過処理されたプレーンの6%次亜塩素酸ナトリウムである漂白剤と0.5 mLの脱イオン水 / 蒸留水を混ぜ合わせてください。
  - + 2.0 mLのろ過処理されたプレーンの7.5%次亜塩素酸ナトリウムである漂白剤と1.0 mLの脱イオン水 / 蒸留水を混ぜ合わせてください。

**重要:**界面活性剤不使用の、ろ過処理された無香料の漂白剤

のみ使用できます。ゲル状、高効果、屋外用、香り付き、または粘度の高い漂白剤は、検査器に使用しないでください。

- お知らせメッセージで「毎月の洗浄を実行」タップするか、初期画面の「IDEXX ProCyte Dx」アイコンをタップし、「機能チェック」タップしてから「毎月の洗浄を実行」をタップしてください。
- 画面の指示に従ってください。
- お知らせ画面が表示されたら、IDEXXハイドロクリン (または5%漂白溶液) 2 mLを、13 mm x 75 mmのプレーンまたは洗浄済みのEDTAチューブ (VetCollect™チューブなど) に分注し、チューブを検査器のサンプルトレーにあるレギュラー/QCアダプターにセットします。
- 検査器の「スタート」を押します。
- 毎月の洗浄手順が完了したら、検査器の品質管理を実行してください。
  - IDEXX ベットラボ ステーションの初期画面で「IDEXX ProCyte Dx」アイコンをタップします。
  - 「品質管理(QC)」ボタンをタップします。
  - 使用するQCロットを選択し、「QC測定」をタップします。  
**注意:**有効なQCロットがない場合、新規のQCロットを追加してください。
  - 「次へ」をタップします。
  - e-CHECK™ (XS) のバイアルを、15分以上かけて室温 (18°C ~ 25°C / 64°F ~ 77°F) に戻します。バイアルが室温を超えないようにしてください。  
**注意:**バイアルを手のひらで温めたり、その他の加熱装置で温めたりしないでください。
  - e-CHECK (XS) のキャップがしっかりと閉まっていることを確認し、バイアルをゆっくり転倒混和させて、バイアルの底にある細胞の塊を完全に浮遊させてください。  
**注意:**ウォームアップ中にとときバイアルを反転させると、この手順の所要時間が短縮されます。この手順では絶対に機械で混和しないでください。
  - e-CHECK (XS) バイアルをすぐにサンプルトレーのレギュラー/QCアダプターにセットします。
  - 「OK」をタップします。
  - 検査器の「スタート」を押します。
  - 手順完了後、e-CHECK (XS) バイアルは室温に置かれていたのが1時間未満である場合に限り、冷蔵庫に戻すことができます。  
**注意:**e-CHECK (XS)は、キャップ穿刺後は14日以内に使用してください。

### ファンフィルターをクリーニングする (毎月)

- 検査器の右側のドアを開きます。
- ファンフィルターを取り外し、掃除機で吸ってください。
- ファンフィルターを再度設置し、右側のドアを閉じます。